

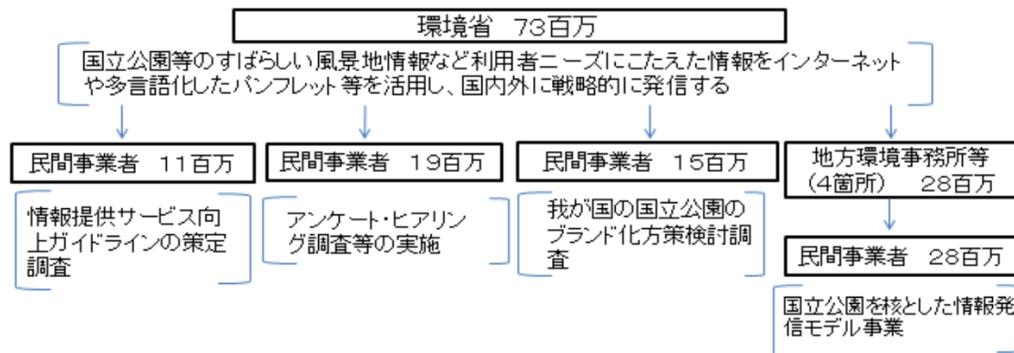
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～		担当課室	総務課自然ふれあい推進室 自然環境計画課 国立公園課 自然環境整備担当参事官室		室長 中尾 文子 課長 亀澤 玲治 課長 鳥居 敏男 参事官 坂本 文雄	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生 5-5 自然とのふれあいの推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第1項		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	観光資源として極めてポテンシャルの高い日本の自然の魅力を維持し、これを効果的に国内外に向けて発信するとともに、より深く自然を体験するために必要なプログラム等を実施することにより、多くの利用者を誘致し、地域の活性化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	観光資源として極めてポテンシャルの高い国立公園や世界遺産の自然を活かして、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域を活性化するため、戦略的な情報発信、貴重な自然環境の質の高い保護・管理、エコツーリズムの推進等の取組を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					1,012
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、国立公園や世界遺産の自然を活かし、国内外の利用者ニーズに応えた情報発信等を行うことにより、観光の促進と地域活性化を推進することを目的としており、定量的な目標は設定できない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国立・国定公園の海域適正管理強化事業件数	活動実績 (当初見込み)	件	—	( )	( )	(34)
	国立公園を核とした情報発信モデル事業数	活動実績 (当初見込み)		—	( )	( )	( )
	国立公園協働型管理運営体制強化事業の実施地域数	活動実績 (当初見込み)	地域	(—)	(—)	(—)	(7)
	ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業の実施地域数	活動実績 (当初見込み)	地域	(—)	(—)	(—)	(10)
	エコツーリズムガイド養成事業	活動実績 (当初見込み)		—	( )	( )	( )
	エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業	活動実績 (当初見込み)		—	( )	( )	( )
	エコツーリズム地域活性化支援事業	活動実績 (当初見込み)		—	( )	( )	( )
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費		12				
	環境保全調査費		799				
	環境保全調査等委託費		11				
	生物多様性保全推進交付金		190				
	計		1,012				

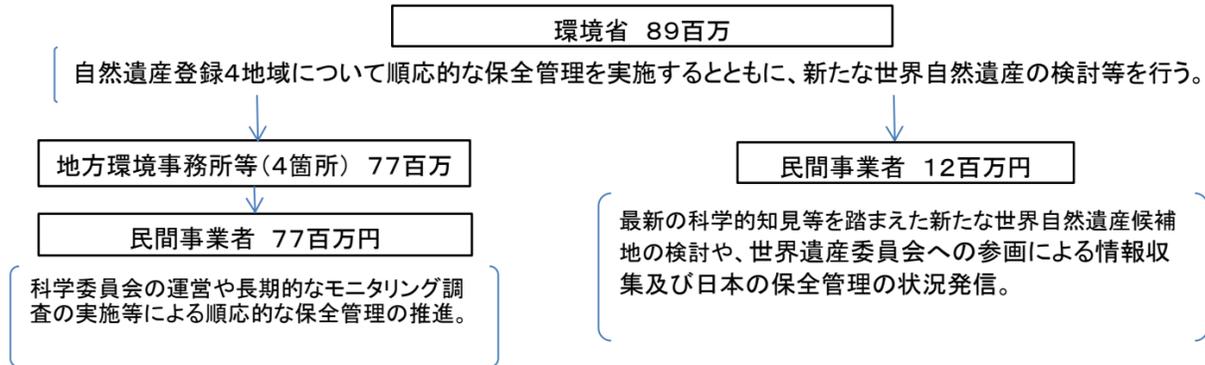
事業所管部局による点検					
	項目			評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、国立公園や世界遺産の自然を活かし、国内外の利用者ニーズに応えた情報発信等により地域活性化を推進するものであることから、国が実施すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定する等、競争性を確保した上で、適切な支出先を選定する。 また、交付金にあつては、交付額の上限を定め、受益者との負担関係を明確にする。
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			/	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			/	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	本事業は、環境省の所管である国立公園の保護及び利用の推進を図ることなどから、他省庁との重複はない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			/	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			/	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	本事業は、国立公園や世界遺産の自然を維持し、これを効果的に国内外に向けて発信するとともに、より深く自然を体験するために必要なプログラム等を実施することにより、多くの利用者を誘致し、地域活性化に寄与するものである。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
/	平成22年	/	平成23年	/	平成24年

※新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(1) 戦略的な情報発信推進事業

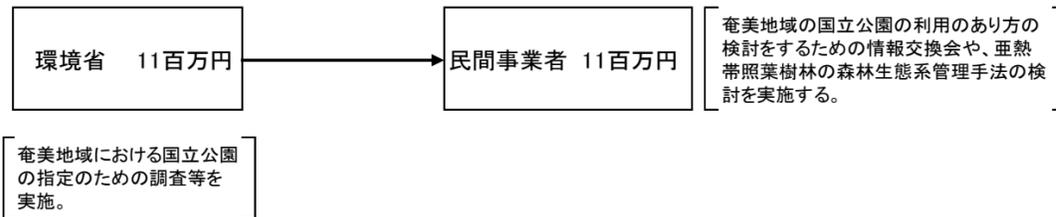


(2) 日本の国立公園・世界自然遺産保護管理強化事業  
1) 遺産地域等貴重な自然環境保全推進事業



2) 奄美地域国立公園指定推進調査事業

① 奄美地域国立公園指定推進調査事業



② 奄美・琉球世界自然遺産登録準備及び科学的保全管理体制の構築



3) 国立・国定公園の海域適正管理強化事業

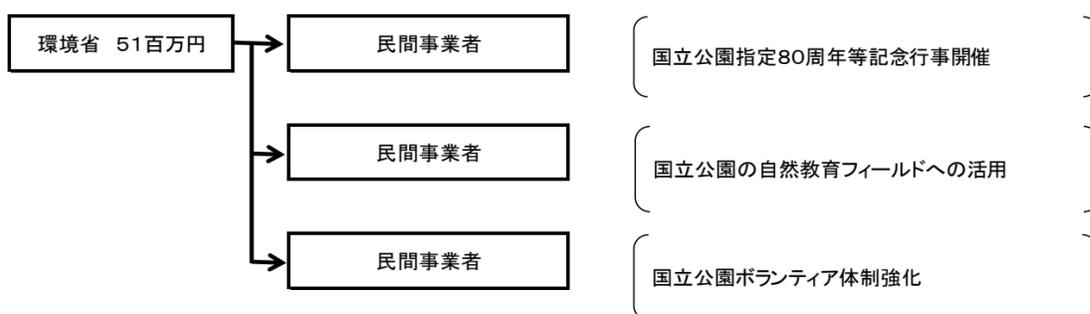


4) サンゴ礁生態系保全行動計画の実施事業



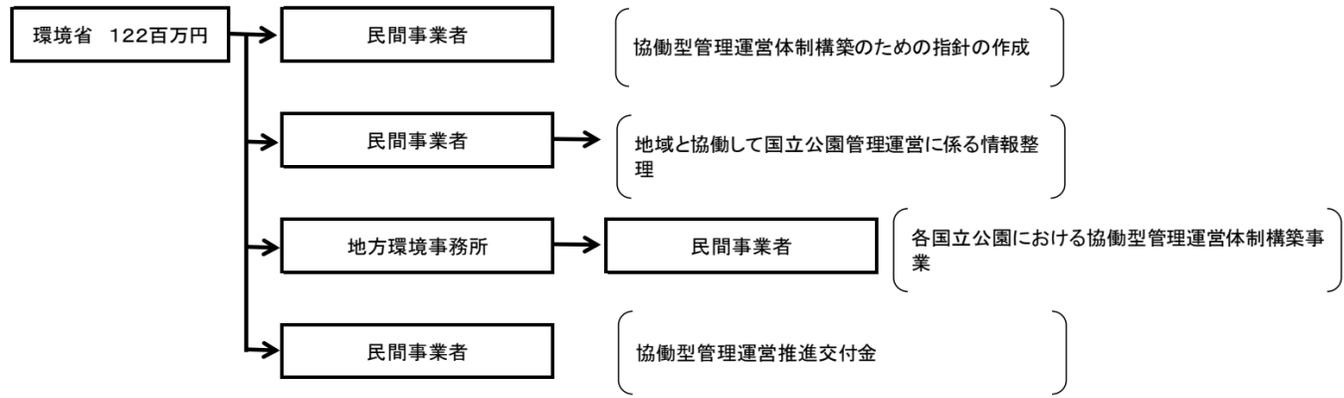
(3) 国立公園等地域活性化促進連携事業

1) 国立公園等地域連携プログラム強化事業

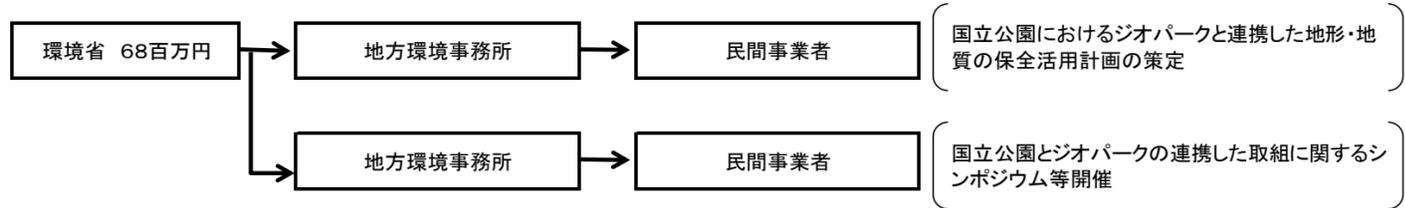


資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

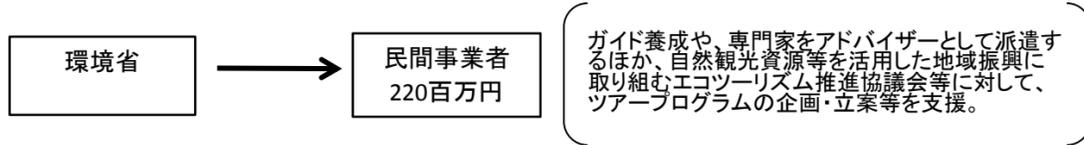
2) 国立公園協働型管理運営体制強化事業



3) ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業



4) エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業



5) 自然環境資源の持続的活用推進事業



6) 自然環境を活用した元気創造事業

